



# 第 1276 回例会報告

平成 24年7月5日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 蒲地整志

### 真実性の原則

改めまして一年間宜しくお願い致します。

私の職業は税理士ですが、職業会計人を目指す者が最初に学ぶことに「企業会計原則」の第一「一般原則」があります。

その中には7つの原則がありますが、その先頭に掲げられている原則が「真実性の原則」です。

#### 一、真実性の原則

企業会計は、企業の財政状態及び経営成績に関して真実な報告を提供するものでなければならない。

さて、ロータリーの四つテストの最初にも「真実かどうか」とあります。私はこの「真実」という言葉に、企業会計とロータリーの共通点を強く感じます。私見ですが「真実」であれば、企業会計原則も四つのテストも、その70%~80%をクリア出来るのではないかと考えています。



今の世の中、この「真実」というものが一番欠けている様に思うのは私だけでしょうか？

企業会計原則の他の6つの原則にも、また機会がありましたら、ふれてみたいと思います。

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

#### ① 7月例会予定

- 05日 第1276回 新会員入会式・新年度役員挨拶・28期事業計画発表 会長・幹事
- 12日 「里山整備について」 社会奉仕委員会
- 19日 会員セミナーと会員増強セミナー 職業奉仕委員会

- 26日 セブ島支援報告 国際奉仕委員会

#### ② 年会費の納入を原則7月中にお願いします

#### ③ インターアクト・ライラの参加者を募集していただきますご協力ください

#### ④ ローターリー財団地区補助金申請について(締め切り9月末日)です。国際奉仕委員会に書類をお回しました

### 【連絡事項】

#### ① 7月ロータリーレートは80円です

#### ② 2012-2012寄付金について ポリオプラス→目標を定めず

2600地区東日本大震災復興支援募金 金額は任意。一人年5000円くらいの心積もりを

#### ■ニコニコBOX

30名	40,000円
累計	40,000円
目標額	130万円
達成率	3.0%

#### ■出席報告

会員数	36名
出席対象	36名
出席者数	31名
出席率	86.0%
前回修正	

#### ■今週のこトば

今年1年よろしくお願ひします。

蒲地整志

蒲地会長の成功を思い東京から直行しました。

航海の成功を祈ります。

小林聖仁

#### ■次回のプログラム

7月19日

会員セミナーと  
会員増強セミナー

職業奉仕委員会



③ 堺屋太一講演会招待券が届いています。

### 【受領文書】

岡谷エコRCクラブ計画書と会報・諏訪RCウィクリ  
ー

## 新入会員入会式

7月1日に入会していただいた3名の方の入会式が行われました。末永くよろしく願いいたします。



上から、小口直久会員・成山秀幸会員・萩田均会員に蒲地会長から「会員バッチと4つのテストの額」が贈られました

## 第1276回例会

### 新役員挨拶と事業計画発表

担当 会長・幹事

### クラブ奉仕委員会

委員長 吉澤邦雄

クラブ運営における当委員会の果たす役割、重要度をよく認識した上で、会員及びクラブの奉仕活動が発展的、効果的に実践できますよう円滑な運営に努めて参りたいと考えております。

特に受付業務においては常に爽やかな笑顔で皆様をお迎えし、出席率の向上を図ると共に無断欠席の無いよう管理していきたいと思っております。また親睦旅行を含め年間を通じた親睦活動の実施で、会員間の親睦・交流を図って参ります。

時に親睦活動等では会費など経済的な負担をお願いすると思っておりますが、ニコBox(目標額130万円)のご利用と共に皆様のご理解とご協力を切にお願い致します。

### 職業奉仕委員会

委員長 御子柴文夫

ロータリークラブの綱領に「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹」とあり、その実践のために「五大奉仕」が掲げられております。

その一つとして職業奉仕がありますが、近年の流れとしては国により捉え方に差異が生じております。

本年度の蒲地会長は職業奉仕を重要命題として捉えられております。

それを受け 職業奉仕の理念を推考し実践することで 会長のスローガン「一歩前へ」と会員諸氏が進める活動を行ってまいります。



## 社会奉仕委員会

委員長 海老原十三

社会奉仕委員長の海老原です。前期に続きまた委員長をやることになりました。大先輩の岩村さん、小林さん、山崎さん、ニューフェイスの小口さんと一緒に1年間頑張りました。



たいと思いますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

私の一年間の目標は100%例会出席を目指し健康管理をしっかりとし、屋外活動の多い委員会を乗り切りたいと思います。

事業計画は

- 1.長期事業のブナの植林5年計画の完了
- 2.里山整備事業 東山田熊野神社地域一帯及び諏訪大和地区  
諏訪湖R.C として積極的に援助し、里山整備事業を軌道に乗せる
- 3.東日本大震災の復興に向け協力する
- 4.諏訪湖浄化活動の推進
- 5.環境の日 清掃活動

## 国際奉仕委員会

委員長 渡邊芳紀

国際奉仕の事業計画はクラブ計画書の22Pと23P、24Pに有りますのでお読み下さい。今日はロータリー財団と米山記念奨学金についてお話ししたいと思います。



私がRCに入会した時、何の奉仕が一番有効だろうかと考えました、クラブ奉仕は委員会のなかでできます。職業奉仕は今の自分の職業の中で継続しています。社会奉仕はクラブ全体で計画的に取り組まず、又会社全員と自分とで諏訪湖のゴミ拾いをやろうと思いました。

個人ではやはりR財団の寄付だろうと思い2年に一回のペースでポールハリスフェローを積み重

ねました。これは誰でもがやろうと思えば手軽に出来る奉仕です、貧しい世界の人々を助けましょう、平和を守りましょう。又財団の資金は我々の奉仕活動の支援にも活用できます。

米山記念奨学金は世界に誇れる日本のロータリーの奨学金です。今の安い金利では今まで通りの奨学金が出せません、皆さんの拠出金が奨学金として留学生の大学・大学院生の生活を支えています。

“奉仕とは奉仕をする人の生き様です“

## 新世代奉仕委員会

委員長 太田淳也

皆さまこんにちは。

今年度、新世代奉仕の委員長を仰せつかりました太田でございます。どうぞよろしくお願い致します。



私は、ロータリークラブに入会させて頂いてから今まで殆ど出席できない不良会員中の不良会員でございました。今年度からは、心機一転、初心に戻り、委員長という大役を仰せつかりました事をきっかけとしまして、出来る限りの出席を心がけていきたいと思っております。

いまだに、右も左もわからない未熟者ですが、次世代を担う青少年連に、奉仕の心と思いやりの心を持って、これからの未来を心豊かに成長していくことを願ひながら、積極的に活動をしていきたいと思ひます。

さらには、私自身も、青少年達に刺激をもらいながら、ロータリアンとして少しでも一歩前へ前進していきます。

一年間、どうぞよろしくお願い致します。

## クラブ広報委員会

委員長 林洋三

本年度の広報委員会の主な事業はウィークリーの発行であります。

このウィークリーの発行も電子化されて作成もか

なり簡素化されました。委員の負担も軽減されており、その作成も容易になりました。

今季地区の指導では広報委員会の役割は「ロータリーに関する情報」

を一般の人々に広めクラブの奉仕プロジェクトや活動を地域社会に広報するという事であります。

私たち諏訪湖ロータリークラブはその活動においてゾーンを代表する表彰を受けております。第2600地区、そして日本ロータリークラブに対しても自負してよいと思います。

これは前期国際奉仕委員会が中心になって活動した、フィリピンマクタン小学校への鍵盤ハーモニカ・ピアノの贈呈、それに付随する一連の活動は党諏訪地方のメディアでも大きく取り上げられています、それらの事業等につきまして私たちはクラブ全員で広報活動をお願いしたいと思います。

今期会長の新しい提案“一步前へ”に基づきウィクリーのほかに当委員会としては、今季一年の活動をダイジェストとして、期末にダイジェスト誌を作りたいと思います。

それを地域の銀行、病院、学校等に配布しロータリーの理解を深めていきたいと思ひます。

そして最後に皆様をお願いですが、ロータリーのバッジを常につけてください。歯車のバッジを着用してロータリーを大いに宣伝してください。

## SAA

高林一紀

蒲地会長のスローガン「一步前へ」を意識しSAAの任務、職務をはたして行きたいと思ひます。日本のロータリーの創始者であります米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。人生の道場に相応しい例会運営を心がけ静肅な品位ある例会にしたいと思ひます。

1 例会場の準備と確認をします

2 会長・幹事・各委員会との連携を密に円滑な例



会運営を目指します

3 ゲスト、ビジターの方を温かくお迎えし心のこもった対応をします

4 厳肅の中にも和やかで楽しく会員相互の親睦が深まる例会運営を心がけます

以上、会員各位のご指導とご協力を宜しくお願い致します

## 編集後記

2011-2012年度のクラブ会報も、無事発行が終わりました。会報を作成する側として一言お礼を申し上げます。

本日の1276号に代表されるように、この膨大な原稿がすべて締切日までに届いています。(締切日は通常、例会翌週の月曜日の午後5時です。) メールなどによりデータ化されているか、ワープロなどできちんと打たれて紙に印刷されたものでいただけるものが大半で、スムーズに紙面編集ができています。しかしなんと言っても「手書き原稿でも期日にいただける」ことが最もありがたいことですので、ワープロで打つことにこだわらないで結構です。

毎回期日までに原稿をそろえるべく手配いただくクラブ会報の担当者と、その要請に応じていただける会員の皆様に心から感謝申し上げます。

今期も私どもが会報を作成することになりましたが、本年同様に原稿の提出をいただけますようお願いいたします。

そして、すでに消えつつある「クラブ会報・雑誌広報委員会は大変だ」という伝説が一日でも早く完全に消え去ることを願っております

すてっぷカサイ